

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2010年10月)  
~3ヶ月連続の悪化~

発表日2010年12月21日(火)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 小杉 晃子  
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		全産業活動指数											
		前期比		前年比		第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
年	月	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
09	1-3月	▲ 6.3	▲ 11.1	▲ 3.1	▲ 6.6	▲ 20.0	▲ 34.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.1		
	4-6月	1.1	▲ 9.3	▲ 0.6	▲ 6.1	6.5	▲ 27.4	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 2.0	0.1		
	7-9月	1.1	▲ 7.0	0.6	▲ 4.7	5.3	▲ 19.4	0.1	0.7	▲ 6.2	▲ 6.4		
	10-12月	0.1	▲ 3.7	▲ 0.3	▲ 3.4	5.9	▲ 4.3	0.0	0.1	▲ 5.3	▲ 13.5		
10	1-3月	1.4	3.7	1.1	0.7	7.0	27.5	▲ 0.8	▲ 0.8	0.7	▲ 12.2		
	4-6月	0.8	3.4	▲ 0.1	1.3	1.5	21.0	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 11.3		
	7-9月	0.7	3.1	0.9	1.8	▲ 1.8	13.5	0.9	▲ 0.6	2.4	▲ 3.2		
09	1月	▲ 1.3	▲ 9.0	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 30.9	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.5		
	2月	▲ 3.7	▲ 12.5	▲ 0.7	▲ 7.4	▲ 8.6	▲ 38.6	0.3	0.8	▲ 0.1	▲ 1.1		
	3月	▲ 1.0	▲ 11.7	▲ 3.4	▲ 7.7	2.2	▲ 33.8	0.2	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.9		
	4月	2.4	▲ 10.0	2.0	▲ 6.2	4.5	▲ 31.0	▲ 0.6	▲ 0.9	0.2	0.9		
	5月	0.9	▲ 10.0	▲ 0.2	▲ 7.1	4.6	▲ 29.0	0.5	1.2	▲ 1.6	1.0		
	6月	0.3	▲ 7.9	0.2	▲ 5.1	1.5	▲ 22.5	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 2.5	▲ 1.3		
	7月	0.5	▲ 8.0	0.5	▲ 5.3	1.1	▲ 22.3	0.2	0.6	▲ 2.5	▲ 3.5		
	8月	0.0	▲ 6.3	0.2	▲ 4.1	1.5	▲ 18.3	▲ 0.2	0.4	▲ 1.5	▲ 6.5		
	9月	0.1	▲ 6.7	▲ 0.3	▲ 4.7	1.8	▲ 17.5	0.1	1.3	▲ 1.9	▲ 8.8		
	10月	0.2	▲ 6.1	0.2	▲ 4.4	1.5	▲ 14.4	▲ 0.2	0.5	▲ 1.0	▲ 10.5		
	11月	▲ 0.2	▲ 3.3	▲ 0.2	▲ 3.0	2.6	▲ 2.9	0.2	▲ 0.5	▲ 3.6	▲ 14.5		
	12月	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.7	2.6	6.4	0.2	0.3	▲ 0.4	▲ 15.3		
10	1月	3.4	1.9	2.9	▲ 0.1	4.3	18.9	▲ 1.3	▲ 0.3	0.7	▲ 13.9		
	2月	▲ 2.2	4.2	▲ 0.5	0.6	▲ 0.6	31.3	0.5	▲ 0.6	4.3	▲ 10.0		
	3月	▲ 0.6	5.0	▲ 2.6	1.8	1.2	31.8	0.0	▲ 1.5	▲ 4.0	▲ 13.0		
	4月	1.9	4.0	2.4	1.8	1.3	25.9	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 17.0		
	5月	0.0	3.1	▲ 0.9	1.1	0.1	20.4	▲ 0.1	▲ 1.7	9.2	▲ 8.1		
	6月	0.2	3.0	0.2	1.0	▲ 1.1	17.3	0.0	▲ 1.4	▲ 2.7	▲ 8.3		
	7月	0.9	3.0	1.4	1.5	▲ 0.2	14.2	▲ 0.1	▲ 1.0	0.8	▲ 5.3		
	8月	▲ 0.1	3.8	▲ 0.1	2.3	▲ 0.5	15.1	1.5	▲ 0.7	2.2	▲ 1.7		
	9月	▲ 0.8	2.7	▲ 0.8	1.4	▲ 1.6	11.5	0.0	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 2.8		
	10月	▲ 0.2	1.4	0.5	0.9	▲ 2.0	4.3	▲ 0.2	0.5	0.5	▲ 1.1		

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

## ○ 全産業活動指数：前月比▲0.2%

10月の全産業活動指数は前月比▲0.2%と、コンセンサス（同：▲0.2%、レンジ：同▲0.4%～+0.1%）通りの結果となった。第3次産業活動指数は改善した一方、鉱工業生産指数が悪化したことなどから、全産業活動指数は3ヶ月連続のマイナスとなった。輸出の減速や政策効果の剥落などを背景に全産業活動指数の改善は一服し、景気は踊り場に入っていることが確認された。

内訳別にみると、プラスに寄与した指数は第3次産業活動指数（前月比寄与度：+0.33%ポイント）、建設業活動指数（同：+0.02%ポイント）、マイナスに寄与した指数は鉱工業生産指数（同：▲0.37%ポイント）、公務等活動指数（同：▲0.02%ポイント）であった。

## ○ 鉱工業生産指数は悪化、第3次産業活動指数は改善

個別にみると、鉱工業生産指数は、一般機械が上昇した一方、エコカー購入補助金制度終了に伴う自動車的大幅な減産により輸送機械が前月比▲10.0%と大きく落ち込んだことから、全体では前月比▲2.0%と、5ヶ月連続のマイナスとなった。

他方、第3次産業活動指数は、家計部門は、エコポイント制度変更・終了前の薄型テレビの駆け込み需要の効果はプラスに寄与したものの、エコカー補助金制度終了を受けた自動車販売の落ち込みによって小売業

がマイナスに寄与したことが全体を大きく押し下げ、横ばいでの推移となった。一方で、ソフトウェア受注の増加や企業収益の持ち直しなどを背景に、企業部門の活動は3ヶ月ぶりに改善した。その結果、全体では前月比+0.5%と、3ヶ月ぶりにプラスに転じた。

加えて建設業活動指数も、公共投資の減少などに伴い公共・建設・土木活動指数はマイナスに寄与したものの、住宅市場の持ち直しなどを受けて民間・建設・土木活動指数がプラスに寄与したため、全体では前月比+0.5%と、2ヶ月ぶりのプラスとなった。

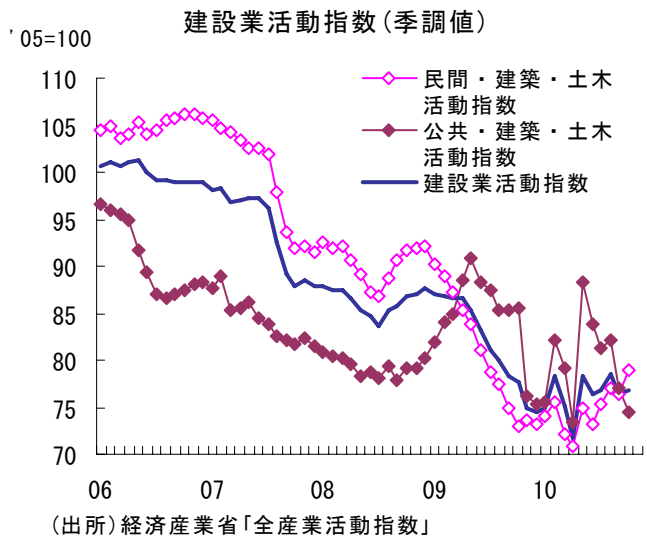
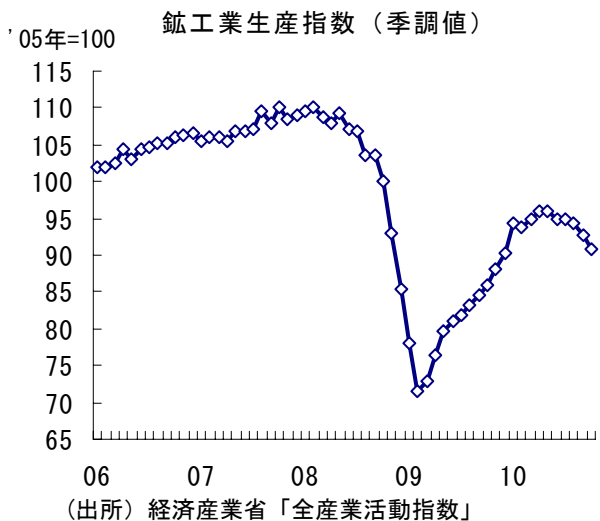
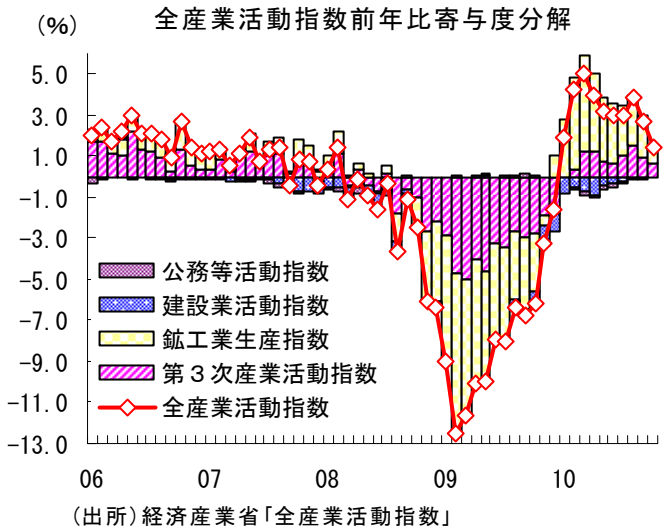
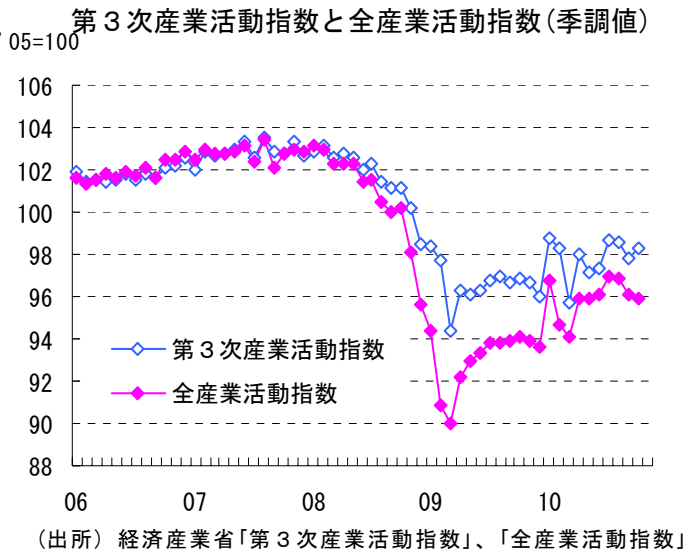
### ○ 先行き景気の停滞感が強まる中、当面回復力に乏しい動きが継続しよう

このように、足もとではエコカー購入補助金制度終了による駆け込み需要の反動の影響が出ていることに加え、世界経済の減速に伴う輸出の鈍化などを背景に、全産業活動指数は改善が足踏み状態にある。

先行きについても、依然として厳しい雇用・所得環境や駆け込み需要の反動の影響などを背景とした個人消費の落ち込みによって、家計部門を中心に第3次産業活動指数は弱い動きが続くと予想される。

また、鉱工業生産指数も、海外経済の減速を受けた輸出の鈍化やエコカー補助金終了による自動車の大幅な減産、在庫還元効果の一巡などを背景に、今後も減速基調が続くと見込まれる。

今後も景気の停滞感が強まる中、全産業活動指数は当面回復力に乏しい動きが継続しよう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。